

ちゅうごく むかしばなし

中国の昔話

なが か み む す め

長い髪の娘



ちゅうごく むかしばなし か か え か ひと たばた みつえ
中国の昔話を書き換えて、絵を描いた人：田畑サンドーム光恵

はなし つく てつだ ひと にしお さちこ
お話を作るのが手伝ってくれた人：西尾佐知子

むかしむかし　ちゅうごく　むら　かみ　なが　むすめ　むすめ　かみ
昔々、中国のある村に、髪が長い娘がいました。娘の髪は、と
くろ　うつく
ても黒くて美しかったです。

とし　なつ　むすめ　むら　あめ　ぜんぜん　ふ　むら
ある年の夏、娘の村では雨が全然降りませんでした。そのため、村
ひとびと　の　みず　こめ　つく　みず　りょうり　みず
の人々は、飲む水もなく、お米を作る水もなく、料理をする水もな
こま
く、とても困っていました。

むら　ひとびと　しかた　とお　いけ　うみ　い　みず　く　むら　も
村の人々は、仕方なく遠くの池や海に行って水を汲んで、村まで持つ
かえ
て帰らなければなりませんでした。



とき むすめ やま うえ ある うつく いずみ み
そんな時、娘は山の上を歩いていて、たまたま美しい泉を見つけ
むすめ おも
ました。娘は思いました。

みず いずみ むら ひと
「まあ、なんてきれいな水なのかしら。この泉のことを村の人たちに
はや し
早く知らせてもらいましょう。」



とき いずみ なか ま もの で むすめ
その時、泉の中からこわい魔物が出てきました。そして、娘にこ
い
言いました。

いずみ だれ はな ころ
「この泉のことを誰かに話したら、おまえを殺す。」



むすめ こえ い
娘はふるえる声で言いました。

いずみ だれ い
「この泉のことは誰にも言いません。」

むすめ むら に かえ
そして、娘は村まで逃げて帰りました。

むら みんな の みず げん き かな
村では皆、飲む水がないので元気もなくなり、悲しそうです。それ
み むすめ かな
を見て、娘は悲しくなりました。

いずみ はな みんな たす
「あの泉のことを話したら、皆はどれほど助かるかしら。でも、そ
わたし まもの ころ
うしたら、私はあの魔物に殺されてしまう。」

に さんにち とお みず く い かえ
2、3日して、遠くに水を汲みに行っていたおじいさんが、帰ってく
と ちゅう おお
る途中、ころんで大けがをしてしまいました。

し むすめ いずみ はな
そのことを知って、娘は、みんなに泉のことを話すことにしまし
た。

じつ やま うえ みず いずみ
「みなさん、実は、あの山の上にとってもきれいな水の泉がありま
わたし いずみ す まもの いずみ だれ はな ころ
す。私は泉に住んでいる魔物に、「泉のことを誰かに話したら殺
い こま
す。」と言われていました。でも、みなさんがこんなに困っているの
はな
で、お話しすることにしました。」

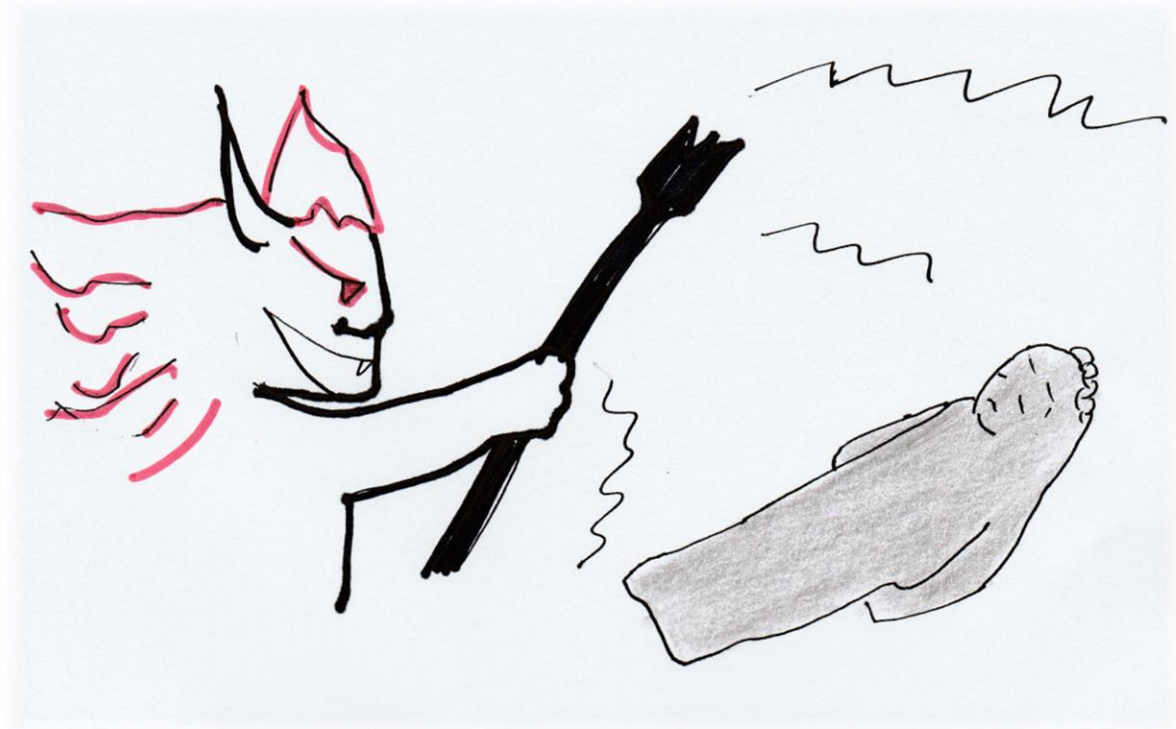
むすめ むらびと いずみ つ い いずみ みず なが
娘は、村人を泉に連れて行きました。泉には、水が流れていかな
せん むらびと せん と いずみ みず
いように、栓がしてありました。村人たちがその栓を取ると、泉の水
かわ やま した むら なが
は川になって、山の下にある村へ流れていきました。

むら みず
「わーい！やったぞ。これで村は水でいっぱいだ！」



むらびと よろこ いずみ まもの おこ
村人たちはとても喜びました。しかし、泉の魔物はすごく怒りまし
た。そして、^{むすめ}娘を^{くさり}鎖でつないでしまいました。あまりにも怖いので、
^{むすめ}娘の^{なが}長い^{かみ}髪は^ま真っ^{しろ}白になってしまいました。

じつ むすめ こいびと むすめ こいびと むすめ たす
実は、娘には恋人がいました。娘の恋人は、娘を助けようとしま
したが、^{まもの}魔物は^{むすめ}娘を^{いし}石にしてしまいました。



かな むすめ こいびと き せい い
悲しんでいる 娘の恋人に、木の精が言いました。

やま む ふ し ぎ ちから も ようせい ようせい
「山の向こうに、不思議な力を持つ妖精がいます。その妖精なら、
あなたを助けてくれます。」

むすめ こいびと やま む い ふ し ぎ ちから も
そこで、娘の恋人は、山の向こうまで行って、不思議な力を持つ
妖精に会いました。

ようせい こいびと ふえ い
妖精は、恋人に笛をくれました。そして、こう言いました。

ふえ ふ みじか あいだ まもの ちから と
「この笛を吹きなさい。そうすれば、短い間だけ魔物の力を止める
ことができます。その間にあなたの恋人を助ける方法を考えなさい。」



むすめ こいびと むすめ いし そろ つく むらびと
 娘の恋人は、娘とそっくりな石の像を作りました。そして、村人と
 いっしょ そろ やま うえ いずみ はこ
 一緒に、その像を山の上の泉まで運びました。

いずみ つ むすめ こいびと ようせい ふ し ぎ ちから も ふえ
 泉に着いた娘の恋人は、妖精にもらった、不思議な力を持つ笛を
 ふ ま もの ちから よわ いし むすめ い
 吹きました。すると、魔物の力が弱くなり、石にされていた娘が生き
 かえ
 返りました。

むすめ こいびと むらびと いそ むすめ くさり と か
 娘の恋人と村人たちは、急いで娘の鎖を取りました。そして、代
 も き むすめ いし そろ くさり むすめ
 わりに、持って来た娘にそっくりな石の像を鎖につなぎました。娘

こいびと むすめ かみ すこ き いし ぞう かみ いし
の恋人が 娘 の髪を少し切り、それを石の像につけると、髪も石になり
ました。

ま ものほんとう むすめ いし ぞう い か き
魔物は、本当の 娘 と石の像が入れ替わったことに気づきませんでした。
た。

むすめ こいびと むらびと いそ むら に かえ ふ し ぎ
娘 や恋人、そして村人たちは急いで村に逃げて帰りました。不思議
なことに、村に着くころには、白くなってしまっていた 娘 の長い髪
は、またもとのように 美しい真っ黒な髪にもどっていたそうです。

(985 語)

